

令和3年度 第一回 佐倉市産業振興推進会議（書面開催）

1. 委員長及び副委員長の選任について

賛成10票（全員賛成）により、委員長を野口恭義氏、副委員長を鈴木善之氏に選任することに決定します。

2. 佐倉市のコロナ対策支援について

1	<p>国、県のコロナ対策支援に加え、佐倉市独自の支援策を様々な形で、数多く実施して頂いたことは大変有効であったと思います。</p> <p>対象となる事業者も、影響の大きい業種に集中した支援がある一方で、幅広く多数の事業者を対象とした支援を実施したり、また支援の方法も単なる補助金だけではなく多様なバリエーションの支援方法で対応され、事業者にとっては大きな支えになったことでしょう。</p> <p>地域社会、地域経済がコロナ禍の影響からまだ抜け出せない現状で、行政の財政負担が厳しいなか今後の対応策については大きな課題であると思います。</p>
2	<p>コロナ対策支援の①～⑫については、きめ細かい支援策を実施しており評価できます。特に①の令和2年開設の事業者総合相談窓口の開設については、実績が年間3,239件とのことだが、十分実績は上がっているものと思いますが、今後は、新規案件の対応に加え、これまで相談のあった案件に対するフォローアップにも力を入れていただきたい。</p>
3	<p>農業者支援について感謝申し上げます。コロナウイルス感染症に対する規制が解除に向かっていますが、その後に対する支援も考えていただけたら幸いです。よろしく願いいたします。</p>
4	<p>農業・商業・工業事業者等を対象として、様々な支援策を実施されてきており行政側の努力が見られました。新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を願うところですが、引き続き、各事業者を取り巻く状況等を見極める中で、必要となる対策支援を講じていただきたい。</p>
5	<p>ワクチン接種に関しては、他の自治体より対応が速いと感じる。</p>
6	<p>適切に対応されていると思っています。市内農業者として支援を受けられたことはコロナ禍において大変助けられました。他業種の経営者にとっても同様だと思います。</p>
7	<p>佐倉市におきまして、農業者・事業者へ諸々多岐に渡り支援展開されている事に敬服致しました。私はプレミアム商品券しか知りませんでしたので驚いてもおります。給付金、支援金について、80%以上の方が満足と応えていることから、施策は成功と言って良いと考えます。又、多くの事業者の方が支援の内容、制度の活用方法を充分把握しておらず、相談窓口設置は有意義であったと考えます。</p>
8	<p>事業者支援施策④で、1,955件、給付金168,250千円とありますが、86千円/件となり、上乘せ5万円と合いません。ここは、説明が必要と思います。</p>

	<p>【事務局より】</p> <p>事業者支援施策④の佐倉市中小企業事業継続支援金については、令和2年度給付済みの事業者については5万円、未給付の事業者には15万円を給付する（どちらで給付を受けた場合も上限は15万円）事業となっており、実績の内訳といたしましては、5万円×1,250社、15万円×705社、計168,250千円となります。</p> <p>※なお、公表資料については、追記済みです。</p>
9	<p>想定外のコロナ過において佐倉市として迅速な相談窓口の設置と市独自の支援金の支給や飲食中心の会議所と連携した消費喚起事業などの支援は励みとなりました。又一気にキャッシュレス化（IT化）が進み驚きました。</p>

3. 佐倉市産業振興ビジョンの進捗について（令和2・3年度）

1	<p>コロナ禍の中での事業推進は大変であったと思います。そのような状況で、分野ごとに、制限があるものの確実な事業実施と着実な成果をあげられたことは、実施された方々の努力の結果であると思います。</p>
2	<p>商業振興ではスマートオフィスプレイスの開設、推進はタイミングも良く、今後も一層のニーズの高まりが見込まれそうです。商店、商店街対策も様々な施策を実施して頂いておりますが、まだまだ厳しい状況にあると感じます。</p>
3	<p>商、工、農業振興では「佐倉・産業大博覧会」が、産業まつり、アグリフォーラムとの合同開催で実現し、今後さらなる充実、発展を期待したいと思います。</p>
4	<p>農業振興では、新規就農者が少しずつ着実に増加していて若い方も多いと聞いております。佐倉の農業にとって明るい希望に感じられます。</p>
5	<p>観光振興では、観光ランドデザインが策定され新しい動きがみられるのは大変良かったですと思います。「観光Wコア構想」に基づく事業も勿論ですが地域資源の掘り起しとしての「雷電キャンペーン」など、新しい事業実施も佐倉観光の大きな盛り上がりにつながっていくことと思います。</p>
6	<p>農業・商業・工業・観光について指標を掲げ、予定された事業等については、概ね順調に取り組まれてきておりますが、企業誘致助成制度活用による市内雇用人数、商談会シートの作成件数、観光協会の情報発信への「いいね」数において、進捗率が低い状況が見られます。コロナの影響もあると思われませんが、目標達成に向けて必要な措置を講じていただきたいと思います。</p>
7	<p>商業～観光の4部門の中で、注力度合はどうなっているのか？（予算的、時間的、ウェイト配分は？）</p>
	<p>【事務局より】</p> <p>商業・工業については、産業振興課・産業労働班、農業については農政課、観光については、産業振興課・観光推進室において所掌し、それぞれの取組を推進しております。参考まで、令和3年度予算は、農林水産業費：679,848千円、商工費：649,453千円となっております。</p>
8	<p>工業の市内法人数の多さに驚いた。商工会議所のつかんでる法人数との整合が必要。</p>

	<p>【事務局より】</p> <p>「市内法人数」の数字については、とりまとめの都合上、工業のシートにいておりますが、市内全業種の合算の数字となります。</p>
9	新規就農者への農地の斡旋については、荒れすぎた農地と高齢により耕作が無理になっても農地への愛着（執着）が強く手離せない農業者が多い為スムーズに進むことは難しい場合が多々ありました。
10	農業をする上で核となる農地です。今後どのように整備し、地主と就農者との関係を構築していくか。
11	私は世代が変わることで農地はもっと自由になるのではないかと考えています。その時に農地が農地でいられる手段を考えなければと思います。
12	商業・農業振興に関し、大規模産直センターを設置したらどうか。各地の産直センターは、それぞれ工夫をこらし、魅力的なものとなっている。佐倉も小規模なものは存在するが、にぎわいは今一つ。大規模産直センターをつくり、商業・農業の活性化を図り、にぎわいを醸成する。地元40%の目標には起爆剤が必要。
13	工業振興に関し、どの様な企業を誘致するか、決めているのでしょうか。又、それを能動的に進められているのでしょうか。もしそうでないなら、それを進めないと、市内雇用100人は難しいと思います。
14	観光振興に関し、歴博、城址公園、武家屋敷、順天堂、印旛沼、草ぶえの丘、各美術館、田園風景等々、これほどの観光物件を保有している自治体はめったにありません。個々の活性化は元より、それらを有機的に結び付け、更なる活性を図ることを進める。
15	<p>観光入込客数が約50%の状況については、コロナ禍では止むを得ないと考えますが次の点について検討していただきたいと思います。</p> <p>1.ビジョンを進めるにあたり具体的に人的、予算計上が明確に見えない。</p> <p>2.復活傾向にあるイベントがマンネリ化しているように見える。常に深化させないと単なる一過性に終わってしまう。又、タイトルと目的が少しズレているように感じます。</p> <p>3.市民との共同体制を構築することが大切と考えます。その為には現状の観光拠点を維持管理することが重要と思います。それに伴い、しっかりと予算計上をし継続的に行うことが大切と考えます。（例えば「ひよどり坂」の補修メンテ等）</p>
16	コロナで大変な時期のR2・R3の中での成果を有難く感じました。